

上位概念からOKR

5階層モデル

SHISEILABO

経営理念・経営方針が明確な 企業向けのSHISEILABO独自の モデルです

Mission起点で 行動が意味を持つ状態を設計

上位概念からOKRまでの5階層モデル（全体像）

抽象	上位概念 Whyの源泉
意味	Mission / Vision
判断	経営理念
表現	コンセプト 事業・ブランドの翻訳
行動	OKR 実行管理

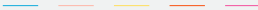


上位概念とは、創業背景・原体験・社会への問い

「会社が存在し続ける理由」

- ・ 数値化しない
- ・ 他社比較しない
- ・ 未来視点で言語化する

Q u e s t i o n



Q.

上位概念、原体験を言語化しよう

- 上位概念は、「会社が存在し続ける理由」
- 数値化ではなく、他社比較でもなく、未来視点での言語化

上位概念はMissionへ…



Missionは、上位概念そのもの

? Mission

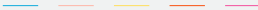
- ・ 今、誰のどんな課題に向き合うのか
- ・ 日々の意思決定の拠り所

Visionは、到達したい絵に描ける未来

? Vision

- 5～10年後の世界観
- 会社が存在することで変わった社会の姿

Q u e s t i o n



Q.

Mission / Vision 言語化をしよう

- Missionは上位概念から、「そもそも私たちは…」で定義する
- Visionは、到達したい絵に描ける未来で5～10年後の世界観
- Visionは、会社が存在することで変わった社会の姿を含める

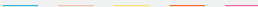
Mission / Vision 言語化をしよう

経営理念はMission / Vision を行動規範に翻訳したもの

Mission / Vision → 経営理念

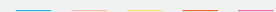
- 組織文化・評価・採用の基準
- 判断に使えるか
- 現場で語れるか
- 迷った時に戻れるか

Q u e s t i o n



Q. 経営理念は？

- ・組織文化・評価・採用の基準に。
- ・定義のポイントは、判断に使えるか、現場で語れるか、迷った時に戻れるか



経営理念を言語化しよう



Mission / Vision → 経営理念

コンセプト設計は、事業・ブランドの翻訳機能

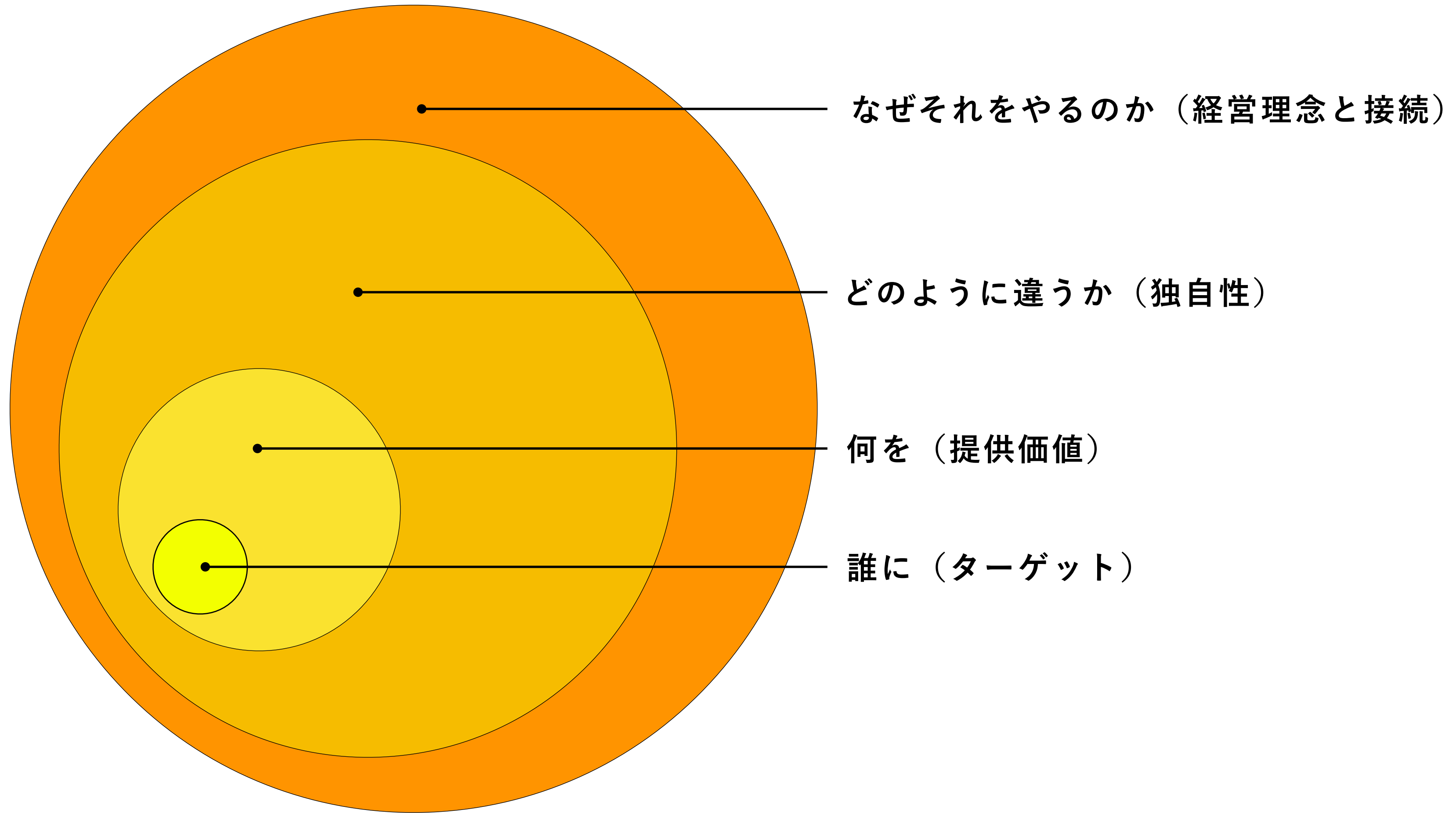
- ▶ 理念と施策の翻訳装置
- ▶ 顧客・市場との接点を定義する役割

コンセプトは、事業・ブランドの翻訳機能

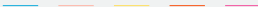
? コンセプト

- ・ 理念と施策の翻訳装置
- ・ 顧客・市場との接点を定義する役割

コンセプトに含める4つの要素



Q u e s t i o n



Q. コンセプトは？

- コンセプト設計は、事業・ブランドの翻訳機能
- 経営理念と施策の翻訳装置
- 顧客・市場との接点を定義する役割

コンセプトを言語化しよう

OKRは実行管理で方向性の可視化

コンセプト → OKR

- コンセプトから設計
- Objective（数値を含めた目標）を定義
- Key Result（具体的な行動）を設定

『目標とその達成のための主要な成果』 Objectives and Key Results

OKR

何を目指し、何を成し遂げたいか？の明確化を目的としたOKRは目標の設定・管理を目的とするフレームワークで、組織目標の明確化と企業・個人の結束力向上に効果を発揮します

組織全体で進むべき方向性の共有、業務内容と組織目標を紐付けやすい、失敗を恐れずチャレンジできる文化醸成などの運用メリットがあり、関係者全員が共通認識をもたない場合、うまく機能しないケースがある

OKRツリー

O（Objectives）とKR（Key Results） | Oは「定量定性目標」 KRは「目標達成のための主要な成果」



OKRとKPIの併用例

